

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和3年5月27日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立佐野台小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 17 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語及び数学。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は上～中位層がやや少なく、下～中位層に多く分布している。
平均正答率（本校 58／泉佐野市 60／大阪府 63／全国 64.7）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることに課題がある。 1一 津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する (70.6/77.5)</p> <p>【読むこと】 ○文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することに課題がある。 2一 面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する (64.7/77.6)</p> <p>○目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることに課題がある。 2三面 ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く (35.3/34.4)</p> <p>○目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。 2四 面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く (29.4/29.7)</p>	<p>【書くこと】 ○自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることに課題がある。 3一 丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する (58.8/64.8)</p> <p>○目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 3二 丸山さんの【文章の下書き】の ----- 部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す (47.1/56.6)</p> <p>【(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことに課題がある。 2二 面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する (70.6/87.5)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。 3三 (1) 丸山さんの【文章の下書き】の中の ----- 部を、漢字を使って書き直す ア (70.6/78.3) ウ (47.1/54.4) エ (70.6/79.0)</p> <p>○文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることに課題がある。 3三 (2) オ 丸山さんの【文章の下書き】の ----- 部オで ----- 部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する。 (29.4/436.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	53.0	58.4	◇	5.4
国語の勉強は大切だと思いますか	88.2	93.2	◇	5.0
国語の授業の内容はよく分かりますか	88.3	84.2		4.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	76.5	91.8	○	15.3
国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	64.7	82.2	○	17.5
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	70.6	63.8	◇	6.8
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	53.0	71.6	○	18.6
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか	53.0	74.3	○	21.3
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか	88.3	97.5	◇	9.2
解答時間は十分でしたか（国語）	52.9	70.3	○	17.4

- 「国語の勉強は好き」と感じている児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の勉強は大切だ」と感じている児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている」児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている」児童の割合は全国と比べ高い。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしている」児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしている」児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の授業の内容はよく分かる」児童の割合は全国と比べて高いにも関わらず、「自分の考えを書いたり、表現を工夫したり、広げたりしている」児童は全国に比べて低いので、本校児童は、自分の考えを発信する力が弱い。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、上～中位層がやや多く、下位層はやや少なく分布している。

平均正答率（本校 71／泉佐野市 68／大阪府 70／全国 70.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することに課題がある。 4（1）余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く (76.5/83.0)</p> <p>○商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることは概ねできている。 4（2）8人に4Lのジュースを等しく分けるとき、の一人分のジュースの量を求める式と答えを書く (70.6/55.5)</p> <p>○小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述することに課題がある。 4（3）30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く (23.5/51.5)</p>	<p>【変化と関係】 ○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することは概ねできている。 1（2）500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く (88.2/86.7)</p> <p>○速さを求める除法の式と商の意味を理解することに課題がある。 1（3）㊸と㊹の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ (47.1/55.8)</p> <p>○速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことは概ねできる。 1（5）分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く (94.1/85.1)</p>
<p>【数と計算】【測定】 ○二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することは概ねできている。 1（1）二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く (94.1/62.5)</p>	<p>【データの活用】 ○棒グラフから、数量を読み取ることは概ねできる。 3（1）6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ (100/95.8)</p> <p>○棒グラフから、項目間の関係を読み取ることは概ねできる。 3（2）学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ (88.2/90.7)</p>
<p>【図形】【測定】 ○複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることに課題がある。 2（2）直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ (47.1/72.5)</p>	<p>○帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することは概ねできる。 3（4）帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く (70.6/52.0)</p>
<p>【測定】 ○条件に合う時刻を求めることは概ねできている。 1（4）午後1時35分から50分後の時刻を書く (94.1/89.2)</p>	<p>○集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することに課題がある。 3（5）5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ (64.7/73.9)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	52.9	67.8	○	14.9
算数の勉強は大切だと思いますか	94.2	93.8		0.4
算数の授業の内容はよく分かりますか	94.1	84.6	◇	9.5
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.1	92.6		1.5
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	76.5	73.9		2.6
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	82.4	82.7		0.3
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	76.5	89.0	○	12.5
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	88.2	91.9		3.7
今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	94.1	97.8		3.7
解答時間は十分でしたか（算数）	82.3	81.7		0.6

○「算数の勉強は好き」と感じている児童の割合は全国と比べ低い。

○「算数の授業の内容はよく分かる」と感じている児童の割合は全国と比べ高い。

○「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」児童の割合は全国と比べ低い。

○「算数の授業の内容はよく分かる」と感じている児童の割合は全国と比べて高いにも関わらず、「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」児童は全国に比べて低いので、本校児童は、公式やきまりは教えられたことをそのまま覚えているので、意味を理解する力が弱い。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活・学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活をできている児童は少ない。 ・スマホ・ゲームについては、時間は長く、家の人との約束を守れている児童は少ない。 ・家での学習時間は、多い児童と少ない児童の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>毎日同じくらいの時刻に寝ていますか</u> <64.7/81.2> ○<u>毎日同じくらいの時刻に起きていますか</u> <76.5/90.4> ○1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか 2時間以上<29.4/26.9> 全くしない<5.9/3.5>
【学校生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標を持っていない児童が多い。 ・他人に対する関心が低い傾向にある。 ・学校に行くのは楽しいという児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢や目標を持っていますか <70.6/80.3> ○<u>人が困っているときは、進んで助けていますか</u> <70.6/88.7> ○いじめは、どんな理由があってもいけない <88.3/96.8> ○<u>人の役に立つ人間になりたいと思いますか</u> <82.3/95.5> ○学校に行くのは楽しいと思いますか <76.4/83.4>
【学校での学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の内容を次の学習に生かしたり、自分で課題を立てて調べて発表したりするような、自ら積極的に学習に臨む姿勢が見られる児童が少ない。 ・学級での話し合いを自分自身に生かすことができる児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習した内容について見直し、次の学習につなげることができていますか <70.6/78.3> ○<u>総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか</u> <52.9/73> ○学級活動における学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか <64.7/73.5>

本校の取組

◎これまでの取組

①学習面

◇学習規律の確立「佐野台小学校学習の5ヶ条」(R2年度改訂)

- ・チャイム着席を心がける。休み時間に、次の学習の用意をする。

教師や児童が意識して取り組んでいる為、授業時間が確保され、授業内容がよくわかるにつながった。

- ・話し方、聞き方、返答の仕方について。物を大切に。「聞き方あいうえお」

◇学力向上の時間〈朝学(朝の会終了後の10分間)〉

〈朝学〉 国語と算数の既習学習の定着をめざした学習

- ・週に1度、「読む」「書く」力をつけるために、力だめしプリントを活用する。長い文章問題にも取り組む。

◇佐野台タイム

- ・4, 5, 6年生に各3~4名の教師で基礎基本を中心に指導し、年間を通して計画的に実施する。

◇家庭学習の徹底「家スタ」(R01年度改訂)

- ・宿題とは別で2年10分, 中学年20分, 高学年30分を目標に、自ら課題を見つけ家庭学習に取り組む。

◇読書

- ・図書での読み聞かせを実施する。・本の貸し出しの多い児童を表彰し、しおりを配付する。
- ・図書担当と司書とで連携をして、子どもたちの意欲が高まる書籍の選定、購入を行う。

◇運動「UPタイム」

- ・月, 火, 木, 金の2限と3限の間の15分間(ドッチビー, スキップ, 大縄, ドッチボール, 鬼ごっこ等)
- 全学年で体を動かす時間を設け、学力と共に体力向上を目指す。

②生活面

◇生活習慣の調査, 家庭との連携

- ・生活習慣の調査を行い、子どもたちの朝食摂取や睡眠時間, テレビ等視聴時間を把握する。
- ・家庭との連絡を取りながら、食育や生活習慣改善の協力を求める。

◎これからの取組

①学習面

◇学習規律の確立

- ・児童朝礼での啓発を行い、学習規律の徹底を引き続き図り、落ち着いて学習に取り組ませる。
- ・めあてを具体的にすることで授業の目的を明確にし、自分の考えを広げられるように取り組ませる。

◇学力向上の時間

- ・引き続き、朝学の10分間を基礎基本の定着を図るための時間として実施し、時間設定も明確にする。

◇佐野台タイム

- ・引き続き、年間を通して取り組み、複数指導者での指導体制を活かして、基礎基本の定着を図る。

◇家庭学習の徹底「家スタ」「日記」

- ・家スタノートを活用して、家庭で集中して学習に取り組むように指導を続ける。めあてを自ら考えて設定したり、週に数回にし、テスト前のまとめや苦手克服したりするための活用にする。
- ・学年に応じて、テーマを決めて日記を宿題に出し、自分の思いを書けるようにする。

◇読書

- ・様々な本との出会いの中で、語彙力や表現力の幅を増やしていけるように、市立(府立)図書館からの貸し出しなども利用して読書活動を充実させていく。

◇運動「UPタイム」

- ・取組みを続け、授業への集中力を高められるようにするとともに、規律ある行動ができるようにする。

②生活面

◇生活習慣の調査, 家庭との連携

- ・生活習慣調査の結果をもとに、家庭と協力しながら子どもの生活改善にあたる。特に、睡眠時間, テレビやゲーム・携帯電話等の使用時間などの生活習慣改善の協力が得られるようにする。